



第17回Wリーグ プレーオフ・ファイナル 第1戦 会見要旨



JX-ENEOS サンフラワーズ(1勝0敗)

■佐藤 清美 ヘッドコーチ

第1Qの立ち上がりは、オフェンスもディフェンスも良かったと思いますが、第2Q以降、相手がゾーンにしたあたりから、オフェンスの所で動きが重くなってしまったのが前半の印象です。一方、後半はターンオーバーの数が多くなったのと、相手にオフェンスリバウンドを多く取られたのが第2戦目以降の課題です。

■#0 吉田 亜沙美 選手

初戦が大事だと思っていたので、とりあえず勝てたことは良かったと思います。試合の内容としては、ターンオーバーの多さや、後半オフェンスリバウンドを取られすぎていることだったり、決めるべきシュートをポロポロ落したり、修正すべき点がこの試合で多く見られたと思いますので、明日しっかり修正して、2戦目以降にしっかり備えたいと思います。

(オリンピック日本代表候補選手が多く所属する富士通との対戦について)アジア大会で同じチームメイトでし、対戦することはとても楽しみでした。町田選手とマッチアップすることによって、私自身モチベーションも上がる、そんな存在の選手ですし、今日の対戦を嬉しく思っていました。楽しみにしていたファイナルでした。意識はしていましたが、私たちのバスケット、ディフェンスからブレイクというバスケットを徹底することが重要だと思います。

(オリンピックイヤーとして何か意識したか?)優勝したいという気持ちはいつもと同じで、何か違う、何か変わるということはありません。何かを達成しようという目標に向かって、チーム全員で取り組むことも変わりません。ですが、バスケットがオリンピックに出場することによってたくさんメディアに取り上げられたり、話題になったという部分では、このリーグを通してもっともっとバスケット盛り上げて、メジャースポーツにしていきたい。その為には、リーグを通して選手1人1人がパワーアップして、1人でも多くバスケットボールファンを増やして、バスケットの良さ、より良いプレーをこのファイナルで見せたいという気持ちでファイナルに臨みました。

(今日勝ったことで、8連覇への手応えは?)試合の出だしが大事だと思っているので、しっかりディフェンスをできるか、きっちり守れるかというのがポイントになってくるかと思います。選手1人1人が、しっかりと自分達の役割をすることによって、ブレイクにつながり、24対9という第1Qの結果に繋がったと思う。自分達のオフェンスがダメな時に、しっかりと我慢してディフェンスをしてリバウンドを取れたのが良かったことです。簡単に勝てる相手ではないので、明日はまたしっかり切り替えて、第2戦目へ向けて、また自分達のバスケットができるように

準備していききたいと思います。

■ #10 渡嘉敷 来夢 選手

ターンオーバーの数が多かった部分と、相手にオフェンスリバウンドを立て続けに取られた場面があったので、そういう時にしっかりと一本、自分たちで常にリバウンドを取って相手の流れを止めることが重要なのかなと思います。次の試合はそれを修正していこうと思います。また、2ポイントのシュートパーセンテージがあまり良くなかったので、もっと決めるべきシュートを決めていききたいと思います。

（オリンピックイヤーとして何か意識したことは？）特にはありません。やはり、このリーグでやってきたことが、オリンピックで活きると思っています。ただ勝つ事だけを考えてプレーしてきました。

（今日勝ったことで、8 連覇への手応えは？）第1Qはディフェンスとオフェンスは良かったので、第2戦目は、それを40分間通してできるようにしたい。まだ手応えがあるとは言えないです。富士通さんは、本当に油断のできないチームなので、1戦1戦しっかりと油断せずに戦いたいです。リーグ戦では、1戦目に大差で勝っても、2戦目に負けたりしているので、まったく油断のできない相手です。しっかりと、2戦目・3戦目と準備をして臨みたいと思います。



第17回Wリーグ プレーオフ・ファイナル 第1戦 会見要旨



富士通レッドウェーブ(0勝1敗)

■BT テーブス ヘッドコーチ

昨シーズンのファイナルの出だしと全く一緒にショックです。負けたことよりも負け方が問題。絶対繰り返したくないと思っていたが、悔しい。自分も悔しいが選手も悔しいはず。JX-ENEOSさんの方が勝ちたい気持ちが強い。最近の課題であるイージーシュートが決められない。また、前半10個のターンオーバーがかなりきつかったです。この大事な試合で、基本となるルーズボール、リバウンド、レイアップシュートなど、集中していないためにミスが多くすぐに大量リードをされてしまいました。逆転するしかないと思っていましたが、2Q以降は互角のスコアになっているので悪いのはやはり出足。そのせいで今日は負けました。

(第1Q大量リードされたところの指示は?) 最近は気持ちの面で負けていることが多いのでバスケの指示にならないですね。とは言え、こちらはもっともっと3ポイントを狙いたいチームなので、ドライブを仕掛けていかないとパスアウトのタイミングがない。ボールを持って1on1を仕掛けるにもパスを出すにも全然ゴールを見ていない。1on1で切り込んだところを相手に塞がれた後の合わせのプレーもなかったのもそのあたりの話をしました。

第2戦に向けては、今日の試合で#1三谷選手が15点を挙げてやっとシュートタッチが戻ってきたところがプラス材料です。また、2Q以降は全てクロスゲームになっているので、この点差は能力の問題ではない。JX-ENEOSさんは優勝経験のあるトップレベルの選手が多いけれども、こちらにも倒したことがある相手なので、どうやって攻略していくか、コーチングスタッフと練り直します。

JX-ENEOSさんは、今日は必ずしもいい状態ではなかった(フィールドゴール成功率39%)ですが、それでも勝つことができます。それがあのチームの強さです。それがうちにはない。うちは100%やらないと勝てません。こういう試合になった時に、自分のプレーに集中できなくなるのがこのチームの課題。ですがこのような状態でも私はまだ選手たちを信じています。どのように切り替えるかはわかりませんが、まずは自分のプレーに集中することが大事だと思っています。

■#10 町田 瑠唯 選手

ヘッドコーチも言われたように、出だしが悪くて、リバウンドやルーズボール、イージーシュートを決めきれなかったというところで自分達のリズムを作れなかったのが負けた原因だと思います。

ボールも人も動いていなくてペイントエリアにボールが入らなかったのも、3ポイントを狙ったのですがそのチャンスもできずに、ペイント内でも攻められなかったのも悪いシュートになって、結局オフェンスリバウンドも取れずに相手に簡単にリバウンドを取られて得点されるというパターンになってしまいました。去年の1戦目で大差をつけられ出だしでつまづいたので、

そうならないよう昨年よりは強い気持ちで入ったのですが、それがプレーに繋がりませんでした。相手がどうというよりは自分たちの問題です。

■ #0 長岡萌映子 選手

出だしで得点が開いてしまってそれが最終スコアにも出ています。出だしは特に私のミスが多かったですし、シュートも短く、気持ちで負けていたと思います。

最初の方で打ったシュートや3ポイントが全て短く、思い切り打っていませんでした。また、自分が5番ポジションになった時やドライブでインサイド勝負をしていれば、パスアウトなどで3ポイントのチャンスもあったはずです。そこは明後日に向けて修正しなければいけないと思います。

(1Qに大量リードを奪われた時)オフェンスはアタック意識をもって臨んでいたのですが、それがプレーとしてついていかなかったです。特にリバウンドとルーズボールを取られていたので、そこを頑張ればこちらに流れを取り返すことができると思っていました。しかしそこもできなかったのでブレイクを出すこともできず、得点が伸びませんでした。

ファイナルだからということで意識したつもりはなかったのですが、相手が勝ちたいという気持ちを押し出してきた時に萎縮してしまったという感じはあります。